



院長 北村 秀綱 (きたむら ひでつな)

PROFILE

1996年に神戸大学医学部を卒業。兵庫県立姫路循環器センターで基礎研修を受けた後、神戸大学大学院博士課程、同大病院医員として最先端の研究に携わり、2006年からは民間病院の内科勤務医としてキャリアを重ね、2017年より北村内科クリニックを開設し、現在に至る。

略歴

- 三重県伊勢市 出身 ■神戸大学医学部 卒業
- 三重県立伊勢高等学校 卒業
- 神戸大学医学部大学院 修了

所属学会・資格

- 神戸大学医学博士 ■日本内科学会 認定内科医
- 日本循環器学会 循環器専門医
- 日本抗加齢医学会 正会員
- 高濃度ビタミンC点滴療法学会 正会員

## 兵庫県加古川市 ● 豊富な経験と徹底した検査体制で「根本原因」を割り出す 医療法人社団 佳祥会 北村内科クリニック

### 経験値×検査による高精度の診断力。 循環器内科・呼吸器内科における関西の名医。

豊富な経験と徹底した検査を組み合わせて、できる限り正確に症状の根本原因を特定した上で治療を施す。当たり前のように聴こえるが、これがなかなか難しい。不整脈や喘息における地域の権威として名高いプロフェッショナルドクターの信条とは。

#### 確かな診断があつてこそ 的確な治療が可能になる

一般的な血液検査や尿検査からレントゲン検査に、心電計や心エコー・頸動脈エコー、下肢動脈エコー・下肢静脈エコーなどの超音波診断装置、さらには一酸化窒素呼吸分析測定装置やモストグラフ（総合呼吸抵抗測定装置）など特殊な機器に至るまで。充実の検査環境を整える北村内科クリニックは、「確かな診断・的

確かな治療」という方針で地域の信頼を獲得し、現在完全予約制でも、1日平均100名〜150名の来院患者数を日々受け入れている。北村秀綱院長は、不整脈をはじめとする循環器内科、気管支喘息・小児喘息を中心とした呼吸器内科のプロフェッショナルドクター。中でも不整脈については20年以上にわたり膨大な数の治療に携わり、カテーテルアブレーションをはじめ新たな治療法が確立に至る流れの中でも

中心的な役割を担ってきた。それゆえに検査機器に対する造詣も深く、最新機器をいち早く導入できる体制を確立。時には、学会でもデータが蓄積され切っていない検査法に関しても、独自の知見から機器の有用性を判断し、設置に踏み切った例もあるという。

**医師側も患者側もメリット多数の電子化による「デジタル診療」**

県立の循環器センターや大病院では救急医療にも関わり、糖尿病や高血圧性疾患、高脂血症などの生活習慣病から人工透析まで広範囲に携わってきた北村院長。その信条を聞くと、「正確な診断と適切な治療」という答が返ってきた。医療界における「薬の出し過ぎ」はよく揶揄

キッズルーム

正直に、誠実に。そんな診療を実現する上で軸となっているのが、クラウド型の電子カルテシステムだ。完全予約制で診察予定を管理しつつ、「受付済み」「検査中」「診療待ち」など院内での患者のステータスを医師や看護師、検査技師らがリアルタイムに共有。患者側にもWEB予約から待ち時間の大幅短縮、自動精算や後払いなどを統合する「デジタル診療」サービスとして好評だ。また、予防医療や健康維持、メデイ

医療法人社団 佳祥会  
**北村内科クリニック**  
<https://kitamura-med.com/>

受付時間 午前9:00~12:00(月~土)  
午後15:00~18:00(月火水金)  
※火曜日午後は検査日・美容内科(再診のみ・予約不要)  
※毎月第3水曜日15:00~16:00(受付は14:45~)はペースメーカー外来となっております。午後的一般診療は16:00からとなりますのでご了承ください。

休診日 木曜午後、土曜午後、日曜、祝日

所在地 〒675-0023  
加古川市尾上町池田745-3

電話 079-423-8000

されるが、根本原因が確定していれば起こらない。だからこそ、対症療法的なその場凌ぎの対応ではなく「確かな診断」が重要となる。上記の充実した検査機器群は、一刻も早く病気を特定するという診療姿勢の証でもあるのだ。



クリニック外観



クリニック待合室

カルエステの視点による美容医療も提供。2022年12月増設した美容内科では、エビデンスが確認できる機器や薬剤を厳選し、密接に関係する健康と美容が互いに入り口となる総合的な治療を推進している。重要なのは経験値と検査情報、当たり前のことをガイドラインに沿ってより精密に診療を支えている。